

**ご注意** オリジナル木製下部収納部に、現行のディープタイプを設置するには、別途部品の手配が必要になります。

**対象機種品番：NP-45MD9SP/MD9S/VD9S/RD9S/RD9K**  
(但しNP-45MC6T及び従来品「7/8シリーズ」以前のディープタイプは対象外。)

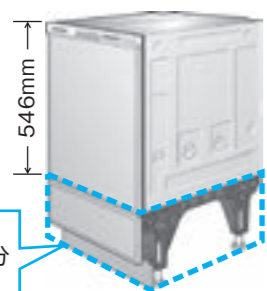
●足元ストッカーなど、オリジナル下部収納部の上に、現行のディープタイプを設置する場合、食洗機同梱の脚ユニット(取付金具一式含む)等が使用できません。別途、必要部品(パナソニック サービスセンター扱い)の手配によって設置が可能になります。

■別途手配 部品リスト (表中の部品名と手順中の部品名が一部異なりますのでご注意ください。)

品番	部品名<説明書内名称>	発注数	希望小売価格(税込)	<本事例での手配部品>
① ANP1701-15W0	アングルA (L) <転倒防止金具>	1	330円(税抜300円)	①
② ANP1702-15W0	アングルB (R) <転倒防止金具>	1	330円(税抜300円)	②
③ ANP348-15W0	脚取付板B (L) <固定金具>	1	440円(税抜400円)	③
④ ANP348-15W1	脚取付板B (R) <固定金具>	1	440円(税抜400円)	④
⑤ ANP3D-15V0	調整脚U (L) <調整金具>	1	1,870円(税抜1,700円)	⑤
⑥ ANP3D-15V1	調整脚U (R) <調整金具>	1	1,870円(税抜1,700円)	⑥
⑦ XTB4+14AFJ	バインドタッピンネジ	8	—	⑦
⑧ XTTANP404	特殊トラスタッピンネジ<ネジ黒>(長)	2	—	⑧
⑨ XTTANP405	特殊トラスタッピンネジ<ネジ黒>(短)	2	—	⑨
⑩ ANP9947-17W0	据付注意書C(型紙)	1	—	

**有効高さの確認**

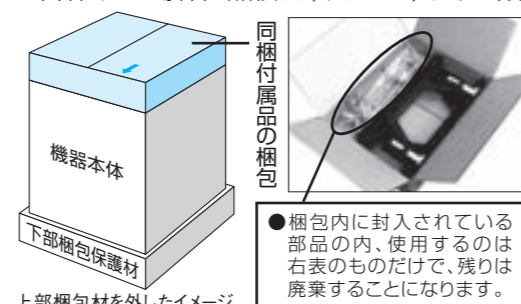
●本体高さ546mmと、カウンター前垂れ下の有効隙間(1~約5mm程度)の合計寸法でキッチン高さに対応できることを確認してください。(隙間が大きくなっても、調整するあっせん部材はありません。)



同梱付属品で  
使用しない部分  
(右の項参照)

**使用する同梱部品の確認**

●上記、必要部品を使用することによって、機器本体の同梱付属品の内、台枠などの脚部、点検口(ポデーB)やネジ類は使用しません。



上部梱包材を外したイメージ

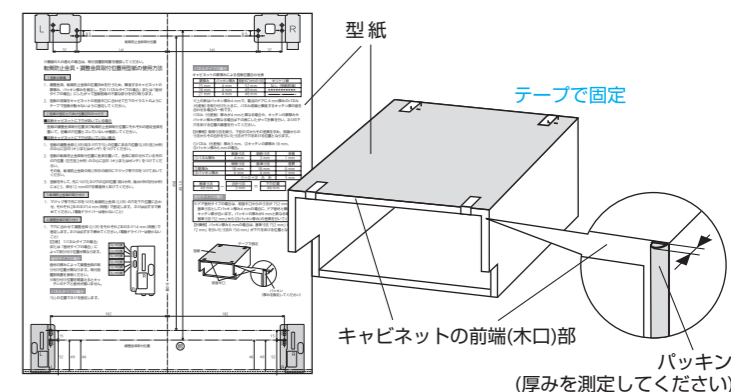
使用する付属部品
●ホースジョイント×1
●ホースノンド(大)×2
●ホースノンド(小)×1
●ファイラー×1 (NP-45MD9S(P)の場合のみ)

●梱包内に封入されている部品の内、使用するものは右表のものだけで、残りは廃棄することになります。

**1 入替前の準備**

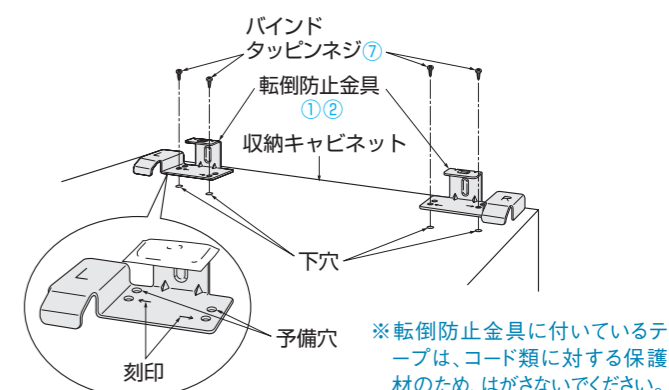
**1 型紙による金具取付位置の確認**

- 1) 下部収納キャビネットが水平に設置されていること、完全に固定された天板に下地があり、バインドタッピンネジで金具が確実に固定できることを確認してください。
- 2) 下部収納キャビネットの前端部に型紙を合わせてテープで固定し、転倒防止金具および調整金具(L)(R)の取付位置を決定します。



**2 転倒防止金具の取り付け**

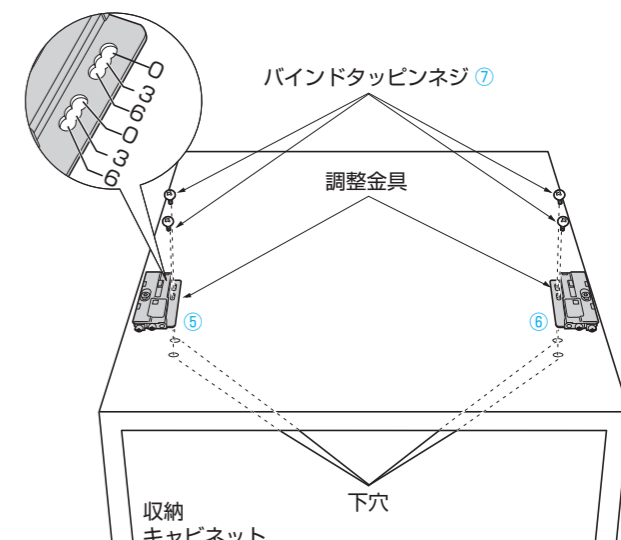
- 1) 収納キャビネットの下穴と、金具の刻印のある穴位置を合わせて、バインドタッピンネジ⑦(各2本)で取り付けます。  
下穴を傷めないように、電動ドライバーは使用せず、必ず手締めしてください。
- 2) 万一、ネジが締まらなくなった場合は、金具の予備穴の位置に下穴を新たに開け、その穴を使って締め付けてください。



※転倒防止金具に付いているテープは、コード類に対する保護材のため、はがさないでください。

**3 調整金具(L)(R)の取り付け**

- 1) 収納キャビネットの下穴と、金具の刻印「O」の位置を合わせて、バインドタッピンネジ⑦(各2本)で取り付けます。  
下穴を傷めないように、電動ドライバーは使用せず、必ず手締めしてください。



## 2 機器本体の設置

●本体の設置および電源、給排水の接続は、必ず「取付設置説明書」に従って行ってください。

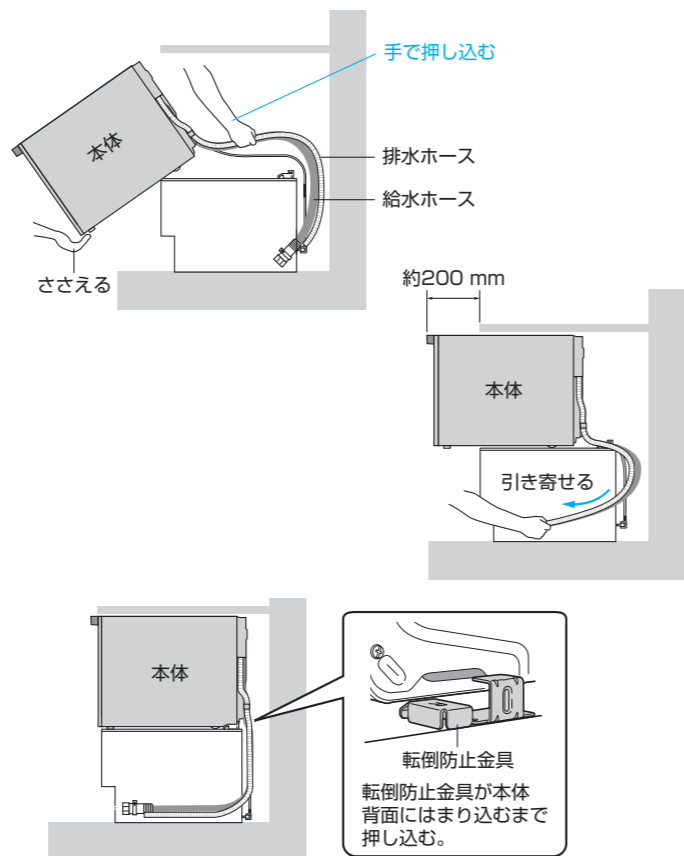
1) あらかじめ給・排水ホース、電源コード、アース線をまとめて、収納キャビネットの上のせておき、両方の手で本体を抱くように持ち上げます。

2) 本体の後脚を収納キャビネットにのせ、給・排水ホースを2つの転倒防止金具の間から下に押し込む。右図のように、本体の前下面を手で支えながら、片方の手でホースを下に押し込んでください。

3) 本体を収納キャビネットの上を滑らせながら押し込み、約200mm押し込みを残した位置で、収納キャビネットの下から、給水ホースと排水ホースを引き寄せます。ホースやコード類のたるみを引き寄せるとき、転倒防止金具に寄らないように注意してください。

4) 本体左右の樹脂部前面が、収納キャビネットの側板の前面木口に当たるまで、本体をゆっくり押し込んでください。

※隣接する機器等に注意しながら、本体中央部をゆっくり押しながらビルトインしてください。大きな力で押し込んだり一気に押し込むと、転倒防止金具が変形し、正しく設置できなくなるおそれがあります。



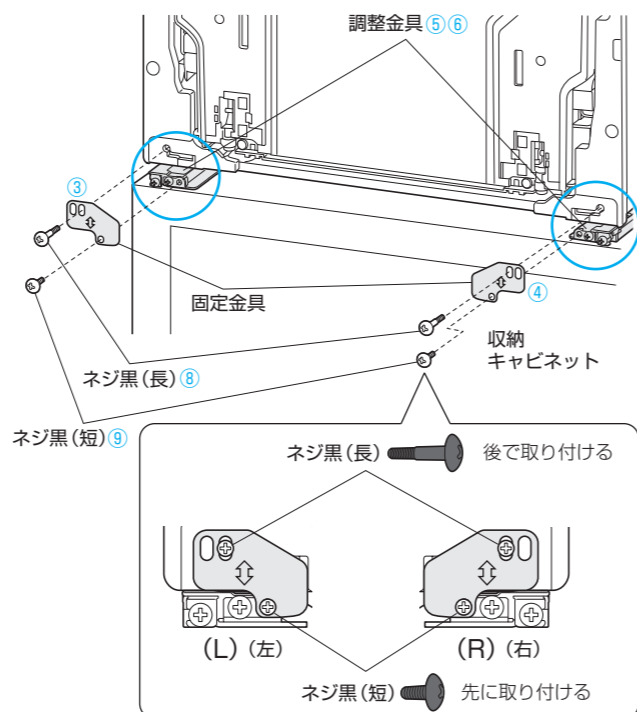
## 3 固定金具と調整金具との取り付け

1) 作業しやすいようにドアを少し引き出し、固定金具(L)(R)の下方ネジ穴と、調整金具前面のネジ穴を合わせてネジ黒(短)で取り付ける。

2) 固定金具(L)(R)の上方ネジ穴と、製品のネジ穴を合わせて固定金具をネジ黒(長)で取り付ける。

※固定金具の下方から取り付けないと、固定金具が下がり、キャビネットに傷をつけるおそれがあります。

※調整金具の調整方法は本「買替え・後付けマニュアル」の「同梱部品編」をご覧ください。



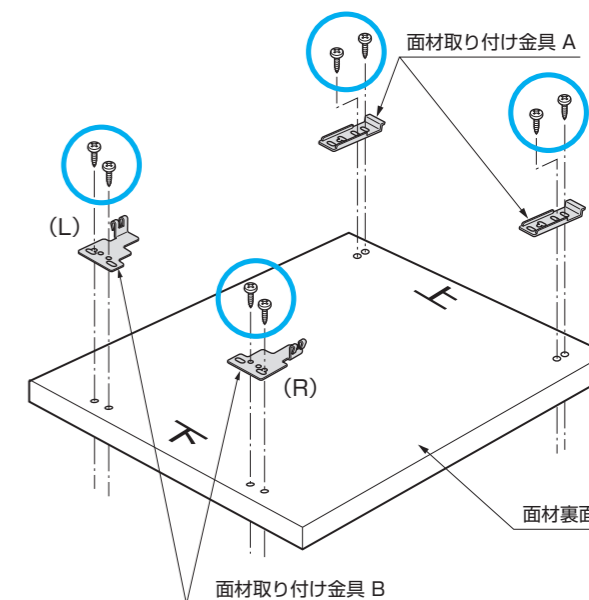
## 4 ドア面材取り付け時の注意点(NP-45MD9WP/MD9Wの場合のみ)

●通常ドアパネル型を推奨していますが、条件によって「ドア面材型」も対応することが可能です。但し、別売部材の「ドア面材」の手配が必要です。

●必ず取付設置説明書に従い、ドア面材の厚みによってフラットスペーサーを取り付けてください。

●厚みが18 mm以下のドア面材を、フラットスペーサーを使用せずに、ドア面材取り付け用の17 mmのネジで取り付けると、ネジの先端がドア面材前面を突き抜ける恐れがあります。

●この場合は、脚ユニットと同梱の「4×14 mm」のネジを使用して金具類を取り付けてください。

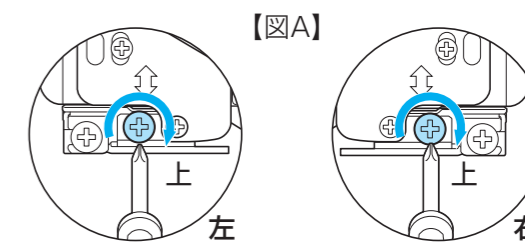


## 5 食洗機本体の高さと前後の調整方法

●取付設置説明書に従い、面材またはパネルを取り付け、試運転を実施後、高さや前後の微調整を行います。隣接するキャビネットに合わせて、以下の要領で、高さや前後を調整します。

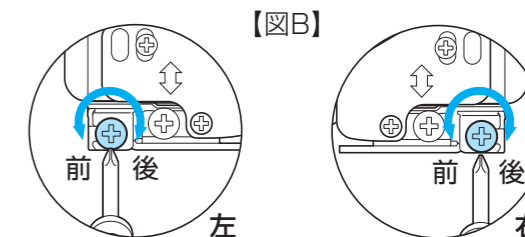
### 高さの調整

調整金具の内側のネジを右に回すことで上方に調整できます。  
(+3 mm)…【図A】



### 前後の調整

調整金具の外側のネジを右に回すと後ろに3 mm、左に回すと前に3 mm調整できます。  
(±3 mm)…【図B】



仕様・デザイン等は今後変更になる場合もあります。